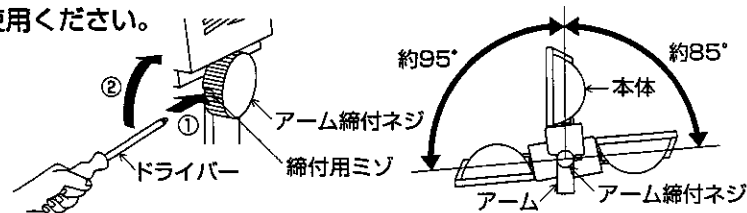


■照射方向の調節について

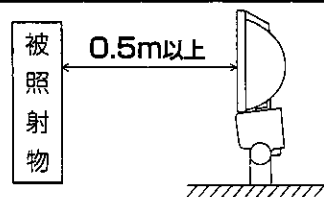
※照射方向の調節の際は、素手で触らないで手袋をご使用ください。

- 照射方向を調節する場合はアーム締付ネジをゆるめてからアームを持って行なってください。指定範囲以上無理に動かさないでください。調節後、アーム締付ネジを締め付け、ドライバーを締付用ミゾに差し込んで強く締め付けてください。



■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.5m以上離してください。



！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 消灯直後に再点灯する場合、約5～15分後に電源を入れてください。(ランプ温度を下げる必要がある為、約5～15分かかります。)

■ランプ交換について ⚠危険 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。高圧パルスが発生していますので、死亡・墜落(電撃)・感電の原因になります。

⚠警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

⚠注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

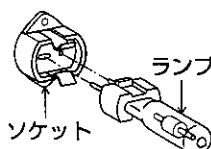
2 前面枠を開ける

■施工手順3を参考に前面枠を開ける。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。落下によるけがの原因になります。ソケット



5 前面枠を閉める

■施工手順5を参考に前面枠を閉める。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ ⚠危険 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。高圧パルスが発生していますので、死亡・墜落(電撃)・感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器は3年間です。
- ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工 取扱説明書

型番 AUN940751・AUN940752・AUN940826・AUN940827・AUN940828
AUN940829

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。	
禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	前面ガラスが高温になりますので人が容易に触れるおそれのある場所では使用しないでください。 →やけどの原因になります。	
	このような場所には取付けしないでください。この器具は天井・壁・直置取付可能器具です。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けしないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。	
禁止	 不安定な場所 補強のない場所	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。	
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。	
	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	表示された電源電圧(AC100VまたはAC200V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	
禁止		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。	

⚠ 注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	アームなどの可動部のすきまに指を入れないでください。 →けがの原因になります。	
禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。	

取説No. H101-124 AL/S・T-02

■定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
AUN940751・AUN940752 AUN940826・AUN940827 AUN940828・AUN940829	AC100V/AC200V	50/60Hz 共用	81/80W	CDM-T 70W (G12)×1

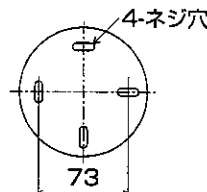
■施工前の確認

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
- 2 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。
- 3 メタルス張り、ワイラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合
器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。

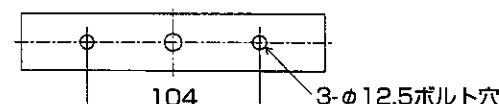
4 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。

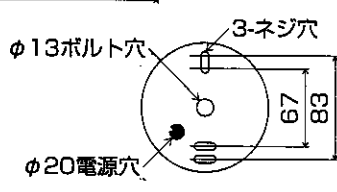
〈フランジに取付ける場合〉
AEE440394



〈直付けの場合〉

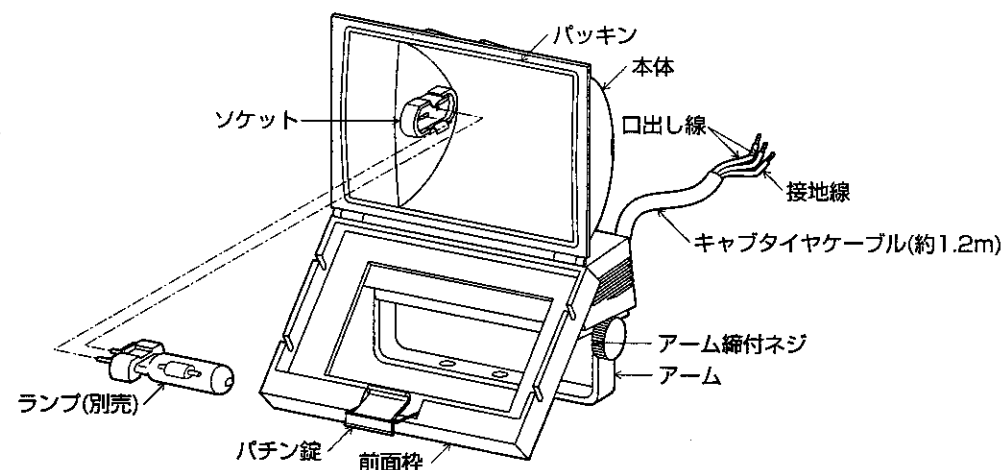


〈フランジに取付ける場合〉
AEE540060
AEE990153
AEE990154

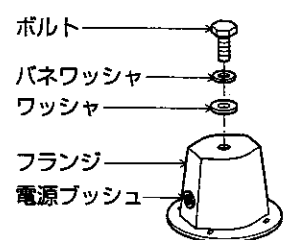


■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

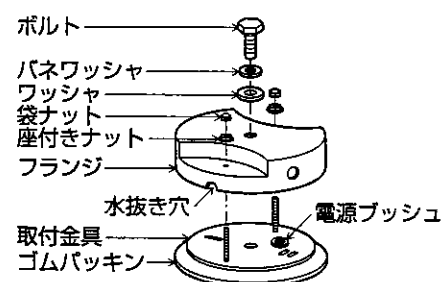
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈フランジ(別売)〉
AEE440394



〈フランジ(別売)〉
AEE540060
AEE990153
AEE990154

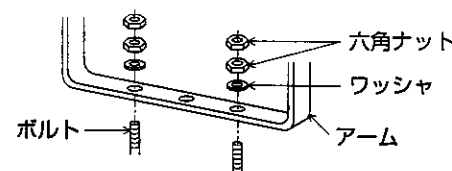


1 本体を取付ける

〈直付けの場合〉

アームにボルトを通し、ワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

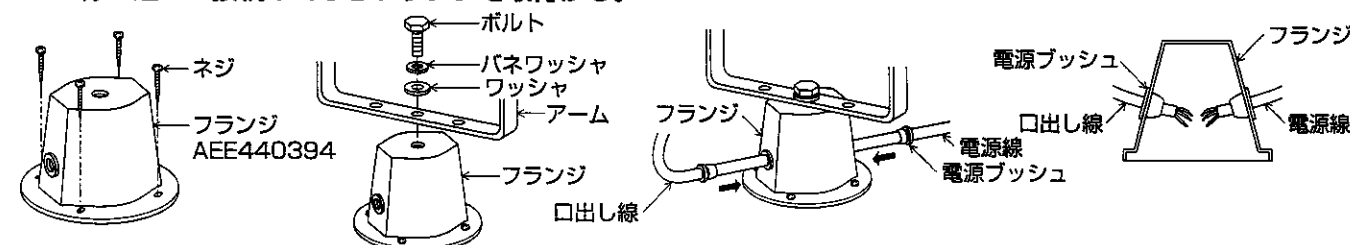
※直付けの場合はボルト2本で取付ける。



〈フランジに取付ける場合〉 (AEE440394)

フランジをネジ(市販品)で取付ける。アームをフランジに合わせ、ワッシャ、バネワッシャ、ボルトで取付ける。

※電源の接続をフランジ内で行なう場合は、必ず電源ブッシュを口出し線と電源線に通し、接続してからフランジを取付ける。

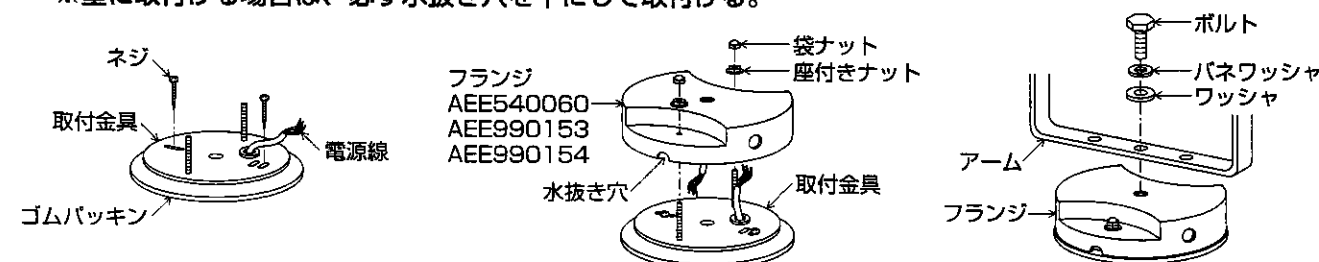


〈フランジに取付ける場合〉 (AEE540060、AEE990153、AEE990154)

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、ネジ(市販品)で取付ける。フランジを取付金具に合わせ、座付きナット、袋ナットで取付ける。アームをフランジに合わせ、ワッシャ、バネワッシャ、ボルトで取付ける。

※電源の接続をフランジ内で行なう場合は、口出し線をフランジ内に引き込んで接続してから、フランジを取付ける。

※壁に取付ける場合は、必ず水抜き穴を下にして取付ける。

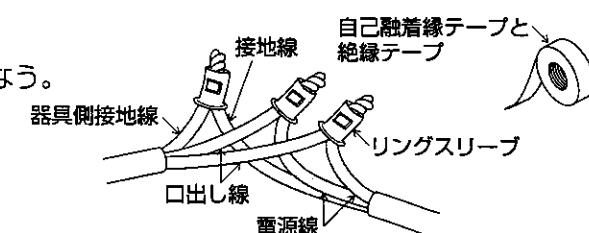


2 電源線を接続する

電源線と口出し線を実際に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

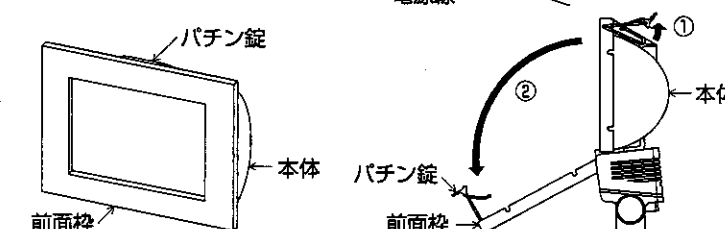
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



3 前面枠を開ける

矢印の方向にパチン錠をはずし、前面枠を開ける。

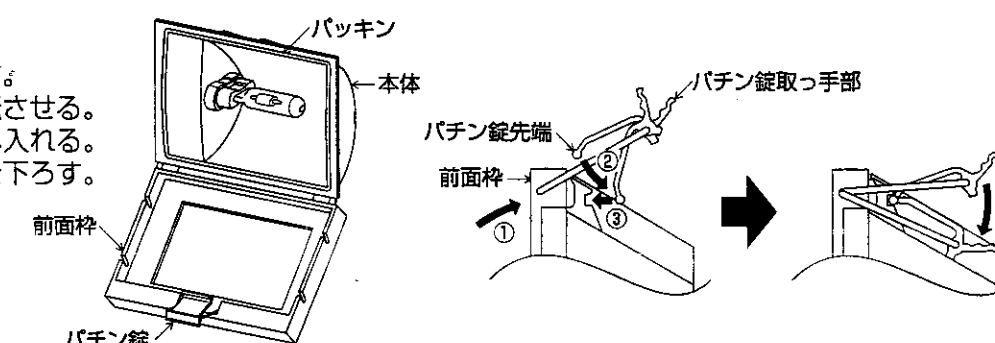


4 ランプ(別売)を取付ける

器具の指定ランプを確認し、ソケットに確実に取付ける。

5 前面枠を閉める

- ① 前面枠を本体に合わせる。
- ② パチン錠を内側に回転させる。
- ③ パチン錠の先端を溝へ入れる。
- ④ パチン錠の取っ手を下ろす。



6 点灯の確認を行なう

△危険 点灯後は高圧パルスが発生しています。触らないでください。